

# わかしよ

〔学校教育目標〕

○かしこい子ども

○美しいものに感動する子ども

○思いやりのあるやさしい子ども

○たくましく生きぬく子ども

若草小学校HP



文責

校長 時田直人

## 3学期始業式

始業式、子供たちに次のような話をしました。

全校のみなさん、おはようございます。そしてあけましておめでとうございます。2023年、令和5年が始まりました。皆さんは、「一年の計は元旦にあり」という言葉を知っていますか？新しく迎える一年の目標や計画は、その年の初めの元旦に立てるべきである、という意味です。校長先生も1月1日に初もうでに行き、お参りしてきました。校長先生は、みんなが友達と仲良く元気に生活し、学校が楽しいと思える若草小学校にしたいです。皆さんも多くの人がお寺や神社に行き、願い事をしたことと思います。その願いが叶うように、先生たちも応援していきたいと思っています。がんばりましょう。新しい一年を迎えるにあたり、この一年間で何ができるようになりたいか、年の初めの元旦に一人一人がきちんと計画を立ててほしいと思います。

ところで「一年の計は元旦にあり」というこの言葉は、元旦に限ったことではなく、どんなことでも、何かを始める時には、きちんとした計画をたてなくてはならないという意味も込められています。こういう順番です。いつまでに仕上げる。など計画を立てて行動に移すことが大切です。

さて1年の最後の学期である3学期は、とても短いです。6年生は3月に卒業式を迎えます。1日1日を大切に、小学校生活を悔いの残らぬように過ごしましょう。立派な卒業式が迎えられるよう、一人一人の自覚と行動力が試されます。77名の力を見せてください。1年生から5年生は一つずつ学年が上がります。5年生は最上級生として全校の先頭に立つという自覚を持ち行動してください。1年生から4年生も一つ上のお兄さんお姉さんになるという気持ちを大切に3学期を過ごしてください。みんなで力を合わせて充実した楽しい3学期にしましょう。

子供たちに、「冬休みは楽しかった？」と聞いてみました。初詣に行ったよ、お出かけしたよ、映画を見に行ったよ、スノーしたよ、などたくさんお話してくれました。冬休みの期間中、大きなけがや事故なく過ごせたことに感謝します。子供たちの活動の様子をお知らせします。

1年生 漢字の学習

2年生 グループ討議

3年生 理科 豆電球



4年生 図形の学習



5年生 書写の授業



6年生 小笠原流札法



**「YOU CAN DO IT (やればできる)」先輩教師に感服です。**

英語の授業は、飯野芳重先生に教えていただいています。飯野先生は白根巨摩中学校の校長を最後に退職され、現在本校と若草南小学校の5・6年生に英語を教えています。3学期、5年生の最初の授業の日、突然ウクレレを持って職員室で弾き始めました。話を聞くとギター経験などなし。冬休みに初めて弾いたとのこと。3学期初めの5年生の授業、「How was your winter vacation?」で披露したかったと話されました。教室では、ビートルズの「Let it be」を歌いました。子供たちから歓声が上がり、自然と拍手がおこりました。「感動した。」と話していた女の子がいました。ウクレレの優しい音色とビートルズの音楽に心が癒されました。

年齢を重ねても、チャレンジする気持ちは持ち続けたいなあと、そして実を結ぶ努力を惜しまないことの大切さを、飯野先生から学ぶことができました。



本校卒業生で、現在甲陵中学校 3年生の前橋真子さんが、令和4年度「少年の主張全国大会」において、最優秀賞である内閣総理大臣賞を受賞しました。「あなたの声、心に届け」と題し、聴覚障害である妹の



真紀さん(本校卒業生、現在若草中学校 1年生)について日頃から抱いていた障害に対する思いや、姉妹での心温まる交流を書いた作品です。テレビや新聞等で報道されご存じの方もいると思われます。機会があればぜひ受賞作品を読んでみてください。

1月4日に通っている甲陵中学校の学校紹介のポスターを届けに来ていただいた折に賞状を見せていただきました。

小学校時代の担任の佐藤先生と記念写真を撮りました。本校の先輩の活躍に、大きな拍手を送りたいと思います。

真子さん、おめでとうございます。

低学年の女の子に「縄跳びが飛べるようになりました。校長先生、見てください。」と声をかけられました。あや跳びや交差跳びなどを見せてくれました。「縄跳び好きなの？上手に跳べるようになったね。」という、うれしそうに「いっぱい練習したからね」と、満面の笑みで答えてくれました。その後も友達と一緒に楽しそうに練習を続けていました。「好きなことを見つけ、できるように努力すること」、そしてその「努力が見える形で実ること」の大切さを感じました。先輩教師から、そして子供たちから「学ぶ」ことについての思いを深めました。

